

データベースファイルの圧縮・暗号化によってエラーが発生する場合の対応手順

A S P 1 0 0 0 Rをご利用の際にパソコンに登録している「Microsoft SQL Server Express Edition」は、使用領域（バックアップを含む）を圧縮・暗号化しての運用をサポートしていません。そのため、圧縮・暗号化されてしまうと、当パソコンでA S P 1 0 0 0 Rのインストール時や起動時にエラーが発生する場合があります。

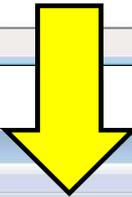
以下の方法で、圧縮属性または暗号化属性を解除してください。

1. コンピュータにログインする。

管理者（Administrator）権限を持つユーザでログインしてください。

2. SQL Server 2005 Express Edition (TKCシステム専用)の動作を停止する。

- (1) [スタート] - [すべてのプログラム] - [Microsoft SQL Server 2005] - [構成ツール] - [SQL Server 構成マネージャ]を選択します。
- (2) 「SQL Server 構成マネージャ」で[SQL Server 2005 のサービス]をクリックします。
- (3) [SQL Server (MSSQL2K54TKC)]の行を右クリックして、「停止」を選択します。
- (4) 「SQL Server 構成マネージャ」を終了します。



3. ASP1000Rが使用しているデータベースファイルのあるフォルダを開く。

(1) スタートを右クリックして[エクスプローラー]又は[エクスプローラーを開く]をクリックします。

(2) 「C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data」フォルダを開きます。

フォルダ内に「A1K」、「TCT」から始まる名前のファイルが存在する場合は、当フォルダがASP1000Rが利用しているフォルダになります。

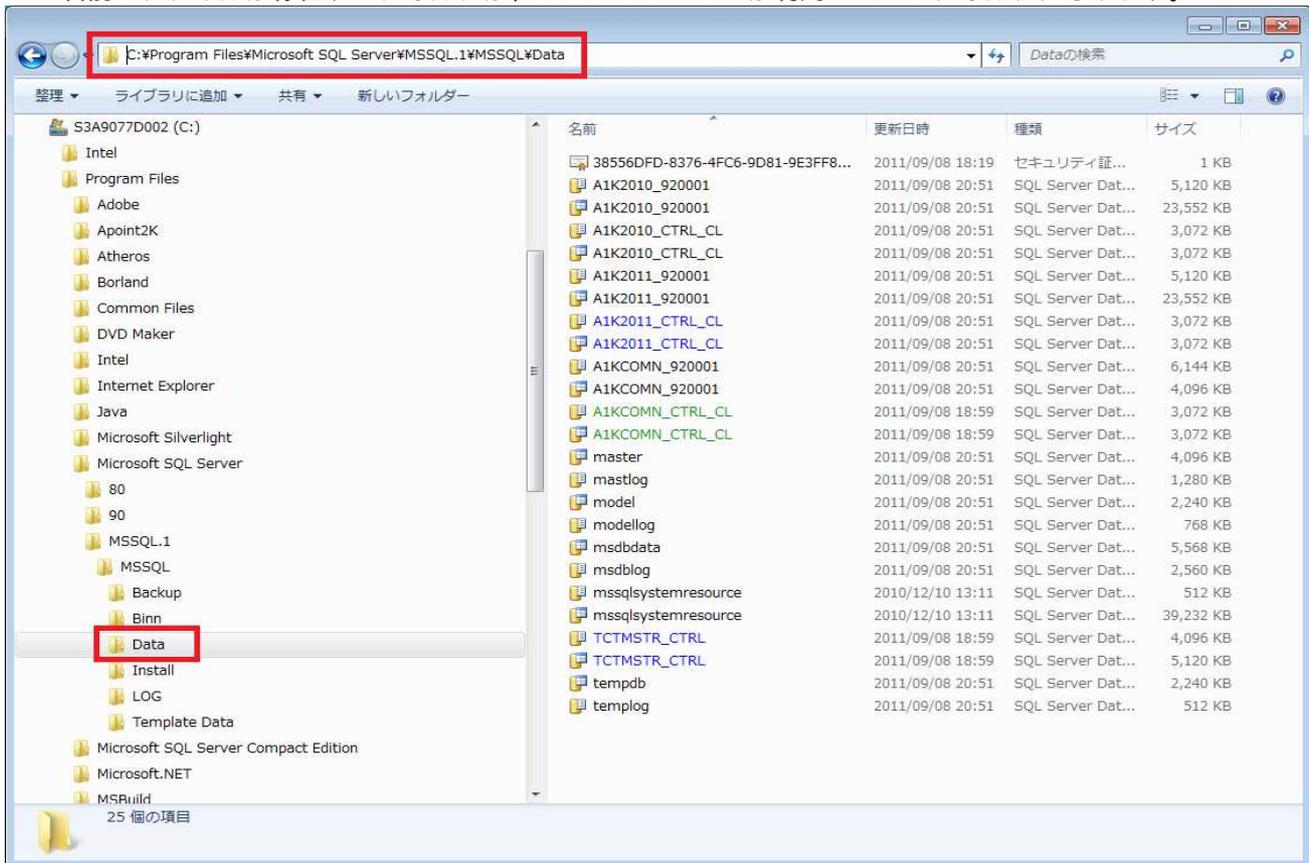
ASP1000R以外にSQL Server 2005を利用しているシステムが登録されている場合は、「A1K」、「TCT」から始まる名前のファイルが存在しない場合があります。

次の手順で、ASP1000Rが利用しているフォルダを探してください。

「C:\Program Files\Microsoft SQL Server\」を開きます。

「MSSQL.1」フォルダ以外に「MSSQL.2」、「MSSQL.3」などのフォルダがありますので、それぞれのフォルダを開き、C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.? \MSSQL\Dataフォルダの中を確認します。

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.? \MSSQL\Dataフォルダ内に「A1K」、「TCT」から始まる名前のファイルが存在するフォルダが、ASP1000Rが利用しているフォルダになります。



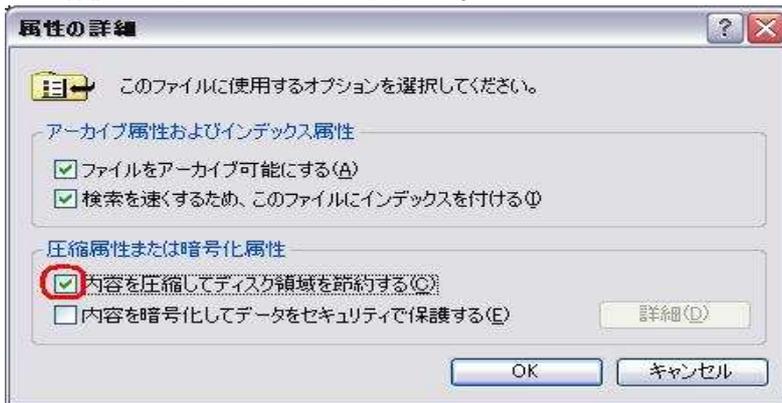
4. ASP1000Rが使用しているデータベースファイルの圧縮属性または暗号化属性を解除する。

(1) ファイル名が「青」や「緑」になっているファイルを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

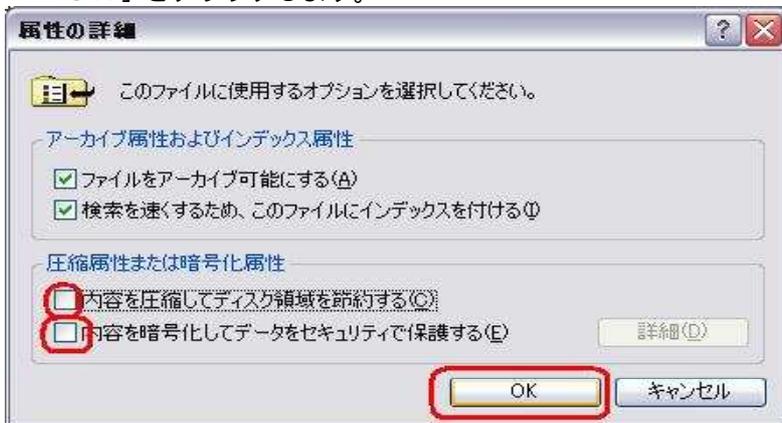
(2) プロパティ画面の全般タブの[詳細設定]ボタンをクリックします。



(3)属性の詳細画面の「内容を圧縮してディスク領域を節約する」「内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する」のチェックを外します。



(4)属性の詳細画面の「OK」ボタンをクリックして、プロパティ画面の「適用」ボタンをクリックして、「OK」をクリックします。



(5) (1) ~ (4)の処理を繰り返し、全てのファイルが黒文字にします。

5. パソコンの再起動を行う。

(1) パソコンを再起動します。(再起動を行うことで、SQL Server 2005 Express Edition(TKCシステム専用)の動作が自動的に開始します。)

以上